

幼児教育学科

科目名: 社会的養護Ⅱ			担当教員 氏名: 根津 敦			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	後期	専門科目	演習	選択	保育士資格指定科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 社会福祉士としての実務経験に基づき、現場の具体的なケースを紹介している。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
子どもが社会的養護の元で、環境に適応していくためにはどのような援助が必要か。具体事例を通して、子どもや保護者への実際的な支援方法を学ぶ。養護児童や障害児童についての理解と社会自立を目指すための援助方法や保育者としてコミュニケーションやレポートのとり方について学ぶ。					技術、知識、教育、介入、自立、社会性	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 7. 9. 10	
B 専門的技術			子どもの行動を洞察、分析し、共感的かかわりを通して心的負担の軽減を図る。			
D 問題解決力			事例を通して、課題解決の視点を持って問題解決アプローチの意識を深める。			
E 自己管理能力			与えられたテーマを整理し、客観的な思考力を身につける。			
G 倫理観			自身が好ましい社会規範を持ち、福祉的視点を持った児童観を獲得する。			
H コミュニケーション力			他者の意見を聞き、自己の考えを表出し感情交流が円滑にできるようにする。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %		レポート: 30 %		発表: %		実技試験: %
その他: 20 %						
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日で試験を実施						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 試験を採点し、返却する際に指導する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション、児童養護施設の暮らし				教科書を読む	予習復習各60分	
②乳児院・母子生活支援施設の暮らし				教科書を読む	予習復習各60分	
③児童自立支援施設・情緒障害児短期治療施設の暮らし				教科書を読む	予習復習各60分	
④知的障害(障害)児・自閉症児・盲ろう児施設の暮らし				教科書を読む	予習復習各60分	
⑤重症心身障害(障害)児施設・肢体不自由児施設の暮らし				教科書を読む	予習復習各60分	
⑥施設入所と日常生活支援				教科書を読む	予習復習各60分	
⑦心理的・治療的援助とは				教科書を読む	予習復習各60分	
⑧振り返り				教科書を読む	予習復習各60分	
⑨家族支援について				教科書を読む	予習復習各60分	
⑩地域との関係、機関連携ボランティア受け入れ				教科書を読む	予習復習各60分	
⑪自立を支援していくには、日常生活能力を高めるには				教科書を読む	予習復習各60分	
⑫子どもの最善の利益について				教科書を読む	予習復習各60分	
⑬支援者の資質と福祉倫理、援助技術				教科書を読む	予習復習各60分	
⑭振り返り				教科書を読む	予習復習各60分	
⑮まとめ、これからの施設の役割と形態				教科書を読む	予習復習各60分	
使用テキスト: 児童の福祉を支える[演習] 社会的養護Ⅱ 萌文書林 978-4-89347-325-7 C3037				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): グループ討議の形で事例検討を主として実施するので、意見集約や発表ができるようになることが目標 予習として、当該演習事例の「本講で学ぼう」に沿って学習しておく						